



おにぎり通信

2016年2月20日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座、日比谷公園、東京駅

周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

1月末に発表された今年の有効求人倍率は1.20倍と、バブル景気華やかなりし頃の平成3年以来、25年ぶりの高水準となりました。有効求人倍率とは、求人数を、仕事を探している人数で割ったものです。つまり去年は、職を求めている人数を2割上回る働き口があったということになります。

この傾向は、東京で特に目立っており、5年前には求人倍率が1倍を割り、求人数が仕事を探している人数を下回っていましたが、今やこれが全国一の1.99倍と限りなく2倍に近づいており、仕事を探している人1人あたり2つの働き口がある状態になっています。職業別で見た時に求人倍率が高くなっているのは、建設躯体工事(鉄筋工、型枠工、とび工など)7.00倍、医師・薬剤師6.15倍、保安(警備員、守衛など)5.01倍といったところで、逆に一般事務0.27倍や営業0.66倍などは低いままです。

☆2月8日(月) 福祉行動報告

どなたもお見えになりませんでした。

次回の福祉行動:2月22日(月)

東京駅丸の内北口地下に朝8時30分までに集合してください。

喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

最寄の福祉事務所と生活相談室

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所...千代田区九段南1-2-1 3階

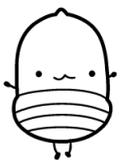
聖イグナチオ生活相談室...千代田区麴町6-5-1

【3%ルール】

ホームレスが路上で売る雑誌「ビッグイシュー」は、イギリスで25年前に生まれました。この雑誌を始めたのは、ジョン・バードという路上生活の経験者で、イギリスでは「生ける伝説」とも呼ばれます。彼は、自分の中のルールとして小さな一歩から段々に進める「3%（100分の3）ルール」を持っていて、販売者であるホームレスにも、最初から多くを求めることはせず、まずはちゃんと決められた時に来ることだけをお願いします。これが彼の言う小さな一歩（3%）です。それができるようになれば、次はもう少し上の「5%」を求めます。例えば、髪を整えるといったことです。そして最終的には、半分の「50%」を求め、代わりに同じ「50%」を与えます。ビッグイシューは、日本では350円で売られていますが、販売者はその約半分（50%）の170円で仕入れ、残りの約半分（50%）の180円が儲けとして手元に残ります。

ジョン・バードは言います。「望みを高く持つのはいいことだ。でも小さな、目の前のことから始めよう。大きな考えを持ってても結局は何ひとつ変わらないというのはよくあることだ。何故なら、人は自分の持つ大きな考えに恐れをなしてしまうからだ。」彼の「3%ルール」は、自身の経験から生まれたものです。彼は15歳の時に施設から逃げ出しましたが捕まり罰を受けます。罰は拷問と言えるほどの巨大な穴を掘るというものでした。彼は、また逃げ出す代わりに、ひとつの方法を思いつきます。掘る場所を1mずつ区切って、それをひとつひとつ掘っていくのです。それは、とてもうまく行きました。重要なのは、大きな目標を細かく分け、1日の仕事量を自分のできる範囲にしたことです。

彼はその後の人生でも、何度も打ちのめされ、失意のどん底に落とされます。そういう時は全く何をやる気も起きません。それでも彼は、まずは「小さな一歩」として、寝床から起き上がることから始め、それができたら自分を褒めます。次に、歯を磨く、ひげを剃ると、徐々に段階を上げて、最終的には外に出て職を得るところまで辿りつくことができ、それがビッグイシューの創刊へとつながって行くこととなりました。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535